PALGROUP

SUSTAINABILITY REPORT

2020

smile is power.

企業理念

SMILE IS POWER.

Mission

私たちのミッションはビジネスを通して
世界中をスマイルにすることです。

原料を調達する人、商品を作る人、物流する人、
販売する人、買う人、使う人、
そしてそれらの工程を考え実行するパルグループ
各社で働く人。

そのひとり一人のスマイルの総合力が社会を
そして地球全体をもスマイルにすると信じて
います。

スマイルこそがみんなのパワーの源泉だから。





会長メッセージ

社員と株主みんなの幸せのための経営

そして、

未来につなげる社会と地球のための経営

株式会社パルグループ ホールディングス
代表取締役会長

井上英晥

TOP MESSAGE

私が４８年前にこの会社を設立した時、このような思想がありました。
「企業の経営は、社員と株主の皆に幸せを与えるものでなくてはならない」
これは今でも当社の経営理念として大切に受け継がれているものです。

近年、世界を見渡してみると、貧困、人種差別、テロ、資源の枯渇など様々な課題があることを考えさせられます。とりわけ２０１９年は世界中で異常気象が報告されており、日本でも自然災害が多発した年でもありました。もはや人類のそして地球の存続にかかわる問題であると思わざるを得ません。

２０１５年には国連でＳＤＧｓという考え方が全会一致で採択されました。これは地球に暮らすすべての人間、経済活動を営むすべての企業が、１７のゴールに基づき行動をすることで、永遠の地球の存続を目指すものです。

私たちパルグループは長年にわたり様々な社会貢献を進めてまいりましたが、２０１９年にサステナビリティ委員会を立ちあげる運びとなりました。従来の社会貢献事業をＳＤＧｓに照らし合わせてさらに拡大させ、その取り組みが社会問題の解決の一助になれればと思います。

そして、サステナビリティを経営の重要な要素とし、設立時の経営理念をさらに発展させた『社員と株主、そして未来につなげる社会と地球のための経営』を新たな目標として、パルグループは邁進してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

※SDGs とは、２０１５年９月に開催された国連持続可能な開発サミットで採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための２０３０アジェンダ」の中で宣言されているSustainable Development Goals の略です。

PALGROUP OUR BUSINESS

年間売上
1,304億円

国内店舗数
926店舗

ブランド数
67

(2019年2月期 連結)

GOODS アソコ
ASOKO

LADIES' MEN'S GOODS ベースヤードトーキョー
base yard™ tokyo

LADIES' ビアズリー
BEARDSLEY

GOODS バースデイ・バー
BIRTHDAY BAR

LADIES' MEN'S GOODS ブルーム＆ブランチ
BLOOM & BRANCH

LADIES' ボンバザール
BONbazaar

LADIES' カプリシューレマージュ
CAPRICIEUX LE'MAGE

LADIES' フーズフーチコ
WHO'S WHO Chico

LADIES' MEN'S チャオパニック
CIAOPANIC

LADIES' MEN'S KIDS' チャオパニックティピー
CIAOPANIC TYPY™

LADIES' コラージュ ガリャルダガランテ
COLLAGE GallardaGalante

LADIES' MEN'S GOODS コロニー 2139
COLONY 2139

GOODS デイリーラシット
Daily russet

LADIES' デイライル ノアール
Delyle NOIR

LADIES' ディスコート
Discoat

LADIES' MEN'S GOODS ディスコートパリシアン
Discoat Parisien

LADIES' GOODS ディスコートプティ
Discoat petit

LADIES' ドゥドゥ
DOUDOU

LADIES' MEN'S ドローイングナンバーズ
Drawing Numbers

LADIES' イアパピヨネ
ear PAPILLONNER

LADIES' ガリャルダガランテ
GallardaGalante

LADIES' イアクッチ
IACUCCI

LADIES' カスタネ
Kastane

GOODS ラティス
Lattice

GOODS レシーニュ
Les Signes

LADIES' GOODS リヴェタート
LIVETART

LADIES' ラウンジドレス
Loungedress

MEN'S ルイス
Lui's

LADIES' ミスティック
mystic

LADIES' オリーブ・デ・オリーブ
OLIVE des OLIVE

LADIES' KIDS' オメカシ
Omekashi

LADIES' ワンアフターアナザーナイスクラップ
one after another NICE CLAUP

LADIES' パルコレクション
Pal collection

LADIES' MEN'S GOODS パルグループ アウトレット
PAL GROUP OUTLET

LADIES' パピヨネ
PAPILLONNER

LADIES' プロズヴェール
prose verse

LADIES' ピュアルセシン
PUAL CE CIN

LADIES' リヴドロワ
RIVE DROITE

LADIES' ラシット
russet

GOODS サリュ
salut!

LADIES' シーナリー
SHENERY

LADIES' アンディコール
un dix cors

LADIES' ウィムガゼット
Whim Gazette

LADIES' MEN'S フーズフーギャラリー
WHO'S WHO gallery

GOODS スリーコインズ
3COINS

etc.

関連会社
14

従業員数（パート・アルバイト含む）
7,834人

PALGROUP SUSTAINABILITY STATEMENT

２０１９年度のパルグループの売上は１,３００億円を突破しました。私たちのビジネスは、社会や環境への影響も無視出来ない規模となり、その企業活動は持続可能な社会や地球に貢献するものでなくてはならないと考えます。

いま、私たちパルグループは、環境や社会に対する理念を外部に向けてしっかりと示さなければならない時であると考えております。

“Do The Right Things”

正しいことをする。

私たちが企業活動の中で日ごろから取り組んできたサステナビリティの対応をより具現化するために、グループを横断するサステナビリティ委員会を立ち上げました。

グループ全体が一つになり、持続可能な社会のために同じ目線で行動すること。その根底にあるのは、「正しいことをする」、という判断基準です。
このたび私たちの活動内容をまとめた
ＳＵＳＴＡＩＮＡＢＩＬＩＴＹ ＲＥＰＯＲＴ ２０２０ を作成しました。

PALGROUP SUSTAINABILITY REPORT 2020

contents

00. 企業理念 ... 2
01. 会長からのメッセージ ... 3
02. パルグループについて ... 4
03. サステナビリティ ステイトメント ... 5
04. サステナビリティ ミッションとスケジュール ... 6
05. OUR ENVIRONMENT ... 7
Topics & People ... 8
06. OUR PEOPLE ... 9
Topics & People ... 10
07. OUR BUSINESS MODEL ... 11
Topics & People ... 12
08. 委員会の設立と概要 ... 13

PALGROUP SUSTAINABILITY MISSION

サステナブルな企業活動を目指す私たちの行動指針と合致するのが国連の提唱しているＳＤＧｓです。そこで、「持続可能な開発のための２０３０アジェンダ」、ＳＤＧｓが示す１７のサステナブル・ゴールのうち、下記の７つを私たちが取り組むべきサステナブル活動のテーマといたしました。



今後の具体的なアクションを策定するため、
この7つのテーマを組み合わせ、

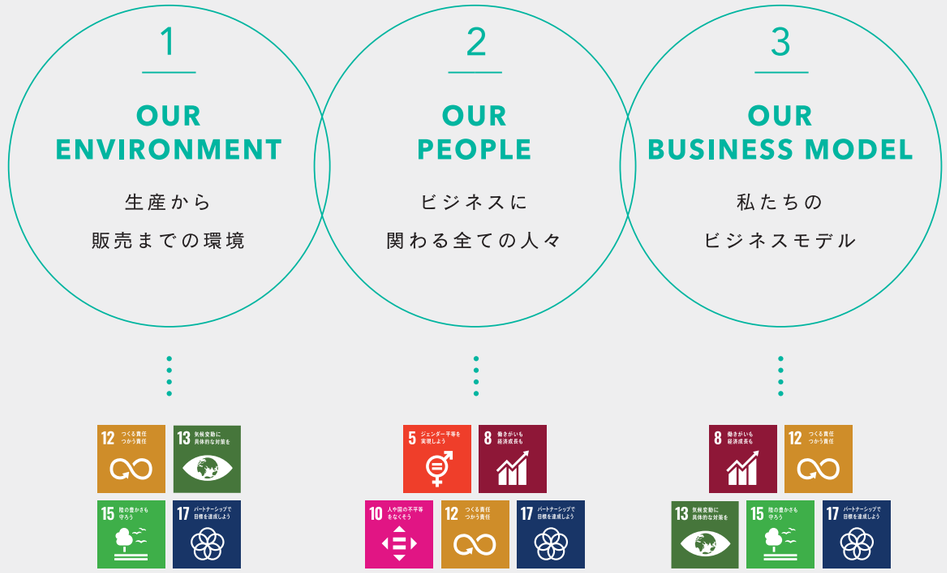
1．生産から販売までの環境

2．ビジネスに関わる全ての人々

3．私たちのビジネスモデル

の3つのエリアに分類してサステナビリティ・アクションを実行してまいります。

3つのサステナビリティ・アクションエリア



CONTRIBUTES TO SDG 5, SDG 8, SDG 10, SDG 12, SDG 13, SDG 15, AND SDG 17.

免責事項

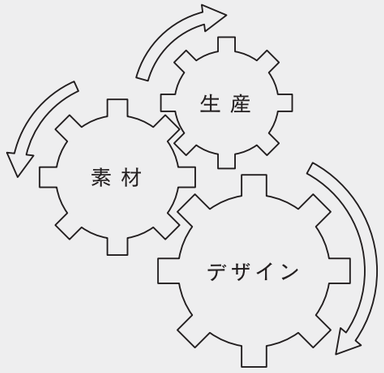
本レポートには、株式会社パルグループホールディングスとそのグループ会社の過去と現在の事実だけではなく、発行時点における計画や見直し、経営方針・経営戦略にもとづいた将来予測が含まれています。この将来予測は、記述した時点で入手できた情報にもとづいた仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があります

1 OUR ENVIRONMENT

製品のデザインから素材選択、生産、調達 そして 店舗販売や本社活動においても環境負荷に配慮する

企画・生産・調達

私たちが生産する製品には、世界各地で調達された様々な種類の原料が使用されています。それらの原料を使い、どこの工場で、どのような仕様やデザインの商品を生産するかを考えることは私たちの重要な仕事のひとつです。ある製品の環境負荷の多寡を左右しているのは企画、デザイン段階であるというリサーチもあり、私たちは企画・生産に関与するすべてのスタッフが、サステナビリティを意識して行動することが重要であると考えます。
また仕入れ先の商社、メーカー、工場にも私たちのサステナビリティに対する考え方を徹底してもらうことで、「つくる責任」を達成していきます。具体的には下記の５つの指針により環境負荷がより少なく、エシカルな製品を企画、生産することを推進しております。
製品のライフサイクル全体を通した環境負荷（ＬＣＡ：ライフサイクルアセスメント）を考えるに、単に生産段階だけを見ても最適な答えは見つかりません。物流におけるＣＯ2排出の削減なども含めて、私たちのサプライチェーンを俯瞰しながら、関わっているすべての企業、ステークホルダーと連携して取り組みます。



店舗・本社

生産・調達された商品は、店舗などを通して販売されます。私たちは９００以上の店舗を運営しており、環境への負荷も十分に考慮しなければなりません。
店舗で使用するＰＯＰなどの様々な販促物、資材などは、その都度本社から送付しておりました。しかしここ数年前から店舗へデータを送付し、店舗、もしくは近隣のコンビニなどで販促物、資材などを出力することで、物流におけるＣＯ2排出の削減に大いに寄与しております。
また店舗へデジタルデバイスを配布することで、本部から店舗への通達の紙による出力を廃止できました。
パルグループは早くから日本の山林の環境維持に問題意識を持っており、２０１２年から植林活動に取り組んで参りました。「世界遺産奈良県吉野の森」には毎年５０名以上の社員が訪問し、植林、間伐などの活動を通し、森の重要さを認識しながら地球環境を考える良いきっかけにもなっております。今後はさらにこの活動を発展させて、従業員の家族、子供なども含めながら、地球環境の維持に寄与できる人材の育成、考え方の醸成なども行っていきます。

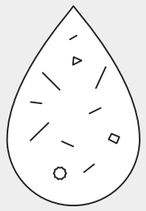




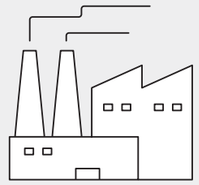
２０１８年１１月１７日、PAL フォレスト植樹事業に総勢５０名がボランティア参加

具体的な5つの指針

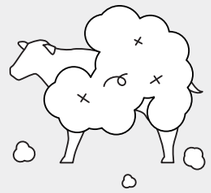
GOOD WATER



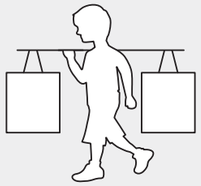
GOOD ENERGY



GOOD MATERIALS



GOOD PEOPLE



GOOD CHEMICALS



1 OUR ENVIRONMENT

TOPICS & PEOPLE

サステナブル素材の活用

大型ファミリーカジュアルブランドであるCIAOPANIC TYPYでは、既にサステナブル素材を積極的に活用しています。
①インド有数の紡績会社「バルドマン」による良質なインド綿素材を使用し、地球環境に配慮した減農薬や水資源の保護に加え、健全な労働環境及び綿花生産農場などにも支援を行っております。②再生ペットボトルと工業ポリエステル廃棄物を合成する革新的な技術によって生まれたRepreve® ファブリックを活用。見た目がかっこいいだけでなく廃棄物を有効活用することで環境に貢献しております。③USAコットンは、最善・最新の科学技術を駆使し、経済・環境・社会的責任を考慮した「責任ある綿花生産」を実施しております。品質、サステナビリティ、トレーサビリティが担保されているUSAコットンを積極的に活用しています。



CIAOPANIC TYPY™ REPREVE® Vardhmān

VOICE

「つくる責任」を達成するために



生産プラットフォーム推進室
室長
杉田 篤

私たちが生産しているアパレル製品は、一般的に多くの水資源を必要としており、綿花などの栽培でも肥料、農薬などの化学品を使うなど、環境負荷が高いと言われております。加えて海外では労働環境の改善が必要な生産現場もあり、今後、ブランドを担う我々の責任も大きいと考えております。
現在私たちが自社生産している製品は、繊維製品だけでも年間約1,000万枚に上り、その生産国や仕入れルートも様々です。しかし残念ながら現段階ではすべての製品に関しては使用する原材料段階から製品までのトレースが出来ているとはいえません。しかし、SDGsの考えに基づき「つくる責任」を達成するためには、私たちの経済活動において、できる限り環境負荷が少なく、エシカルな生産体制を確立する意識とアクションが不可欠です。我々のモノづくりにおける可視化を今後も進めてまいります。

環境負荷を低減させる意識とアクションが不可欠

2 OUR PEOPLE

笑顔になれること

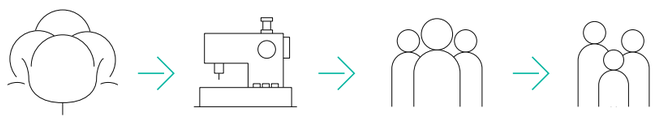
パルグループのサプライチェーンで働いている全員が、経済活動にかかわることでスマイルになれることが、私たちの喜びでもあり企業活動の基本でもあります。

まず昨年から店舗スタッフのシフトを見直し、1日の時間別の売り上げ予想に基づいた「変形労働シフト制」を導入したところ、残業時間が大幅に改善し有給休暇取得率も向上しました。それにより店舗スタッフのワークライフバランスが改善され、働き甲斐の向上につながりました。

小売業としてスタートした私たちですが、フェアサプライチェーンの確立のためにはサプライチェーンを店舗から上流へとさかのぼり、縫製工場、素材調達の現場までにも目を配らなければなりません。ＳＤＧｓには「地球上の誰一人取り残さない」という考え方が根幹にあります。

私たちの販売している商品が、企画、生産されてからお客様の手元にわたるまでの長い工程にかかわるすべての仲間が、スマイルになり幸せであり続けることを担保するのも私たちの大切なミッションです。そのためには仕入先の商社、メーカー、工場や物流パートナーなど、サプライチェーン上のあらゆるステークホルダーとの協業がかかせません。私たちはフェアなサプライチェーンを構築し、私たちの企業活動に関わる全員が、正当な恩恵を受けることができることを目標としています。

パルグループのサプライチェーン



サプライチェーンを構成するすべての人がハッピーになれる仕組みを作る









サステナビリティの理解

サステナビリティの考え方は決して企業のトップが強要するものではありません。むしろグループを構成する一人ひとりがその重要性を認識して、日々の行動の中に組み入れるべきものであると考えます。そこで私たちは社員の教育を重要な課題として位置付け、新入社員研修、昇格研修などに加え、主な社員全員が一堂に会する全社大会などの場面においても、サステナビリティの理念を都度明確に分かりやすくメッセージとして共有し、社員が具体的な行動を起こすことをサポートします。

2 OUR PEOPLE

TOPICS & PEOPLE

プライベートを充実させる柔軟な働き方

従来の月間の変形労働時間制では、１日８時間のなかで勤務時間帯を変える程度のシフト運用でした。そこで昨年度から従業員個人のライフスタイルに合わせ、１日８時間にとらわれないフレキシブルな労働時間の設定を可能にする運用を開始しました。これにより、頑張るときは思いっきり働き、休む時はたっぷり自分の好きなことをするというように時間を使うことが可能になりました。結果として労働生産性を上げる働き方へと従業員の意識も向上し、時間外労働が大幅に削減され、長期休暇の取得も容易になりました。結果として会社全体で有給取得も大幅に増加しております。また当社は従業員の７割以上が女性ということもあり、細かな制度の見直しも行いながら、産休＆育休の取得者数は年々、確実に増加しております。これにより皆がそれぞれ助け合う職場環境が醸成されています。

アルバイトを含めた全社員参加の社内アイデア公募



新規事業創出を目的にした、アイデア応募プラットフォーム「パルグループ チャレンジ プロジェクト」を２０１９年５月から開始しました。役職者からだけではなく、パート・アルバイトを含めた全社員が対象で自宅や職場を問わず、スマホから５分で応募が可能になりました。アイデアの選考フローの透明化、そしてダイレクトに経営層へ繋がる仕組みが特徴で、「自ら手を挙げ、まずやってみる」という企業文化が根幹にあります。社員全員に公平なチャンスの場と、働きがいのある環境を創出する役割を担っており、今後も持続的に展開していきます。

VOICE

かかわる全ての仲間がスマイルに



Smile Promotion 室
室長

大谷 光代

社員の笑顔には、お客さまやサプライチェーンの方々をも笑顔にする力をもっていると信じています。そこで私たちは２０１９年４月に、「Ｓｍｉｌｅ Ｐｒｏｍｏｔｉｏｎ室」という部署を開設いたしました。
他社にはないユニークな部署だと思いますが、私たちが大切にしている「Ｓｍｉｌｅ ｉｓ Ｐｏｗｅｒ」という言葉を実現するために社員が笑顔で働ける環境を作り、必要な教育を提供するために日々奔走しております。
その一環として２０１９年に、店舗で働くスタッフが働きがいのある環境を作るためにシフト制を含めた制度の見直しを行うことにより、個人の満足度が大幅に向上いたしました。
また今年度からは、社員のサステナビリティに関する理解の啓発を推進していきます。私たちがサステナビリティを主眼に行動することは、

社員が笑顔で働ける環境を提供

「Ｓｍｉｌｅ ｉｓ Ｐｏｗｅｒ」を実現することにもつながり、グループ社員はもちろん、サプライチェーンにかかわるすべての方々も笑顔で働ける環境を作る事業活動に寄与すると考えております。
パルグループの事業が世界に笑顔が広がる一助になるために、今後も「Ｓｍｉｌｅ Ｐｒｏｍｏｔｉｏｎ室」としてもサステナビリティのアクションに積極的に取り組んでいきたいと思います。

3 OUR BUSINESS MODEL

SDGsの考え方に沿ってビジネスモデルを見直し サステナビリティ経営を優先事項とする

消費者のさらにその先へ

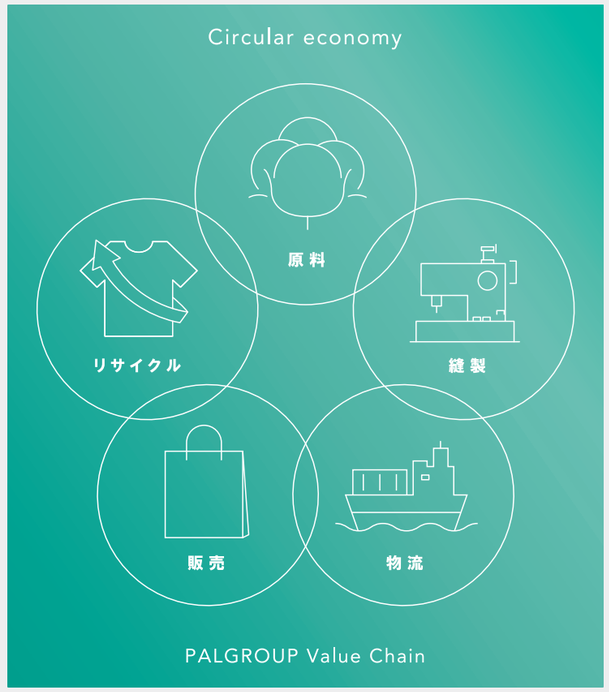
私たちのビジネスモデルは端的に表現すると、社内で企画した商品を生産し、店舗で販売することです。その多くは海外で生産され、輸入のプロセスを経て９００か所以上の販売拠点に送られます。
グループ全体の売り上げも１，３００億円を越える規模で、その取扱い商品も多岐にわたります。単純に商品を仕入れて販売するという従前のビジネスモデルから、仕入先のさらにその前、そして販売した消費者のさらにその先の使用後までも考慮し、プロダクトライフサイクルの観点からビジネスモデルを構築する必要性があると考えております。

消化率の向上

いまファッション業界では、限られた資源の有効活用と商品の廃棄による環境インパクトの問題から、消化率の向上が大きなテーマとして取り上げられております。当社もここ数年この問題に積極的に取り組んできており、仕入れ先と協働しながらＭＤサイクルの短縮化に取り組んできました。
ファッション業界が取り組むべき最優先の課題の一つとして、「売る分だけつくる」ということがありますが、企画から生産までの期間が長く、工程も多岐にわたり、関わるステークホルダーも多い中での改善は容易ではありません。
そこで私たちはＭＤのプロセスを見直すことにより、気候やトレンドなどの変動要因に俊敏に対応できる調達プロセスを作り、消化率の向上に努めてきました。ファッションは急激に変わりゆくものであり、現在のＭＤプロセスが将来的に最適であるという保証も無い中で、今後も絶えず仮説検証を繰り返していく必要があります。

サーキュラー・エコノミー

私たちの商品は、限りある資源を使い生産されたもので、環境へのインパクトも無視できません。その貴重な商品を永遠に増産し続けていくことはサステナブルな観点から考えても不可能だと言わざるをえません。
そこで、世界のファッション業界の潮流の一つでもある、循環型のサーキュラーエコノミーに賛同し、何らかのアクションを起こすことは作るものとしての責任の一つであると認識しております。
店頭で古着を回収する以外にも、売れ残った商品のアップサイクル、フリマなど活用した商品の二次流通のサポート、そしてより長く使用できるようなお客さまへのサポートなど、様々な観点から取り組んでいきます。



社会貢献

グループ企業として早くからパル井上財団を設立し、様々な観点から社会貢献を進めてきました。ファッション業界を目指す若者への支援や、環境活動など様々な活動を通して私たちの事業が社会に貢献できる仕組みを今後も提供し続けていきたいと思います。

3 OUR BUSINESS MODEL

TOPICS & PEOPLE

売る分だけつくる

いま世界のアパレルでは過剰生産による売れ残った商品の廃棄が問題となっています。
私たちは数年前からこの課題に取り組んできました。売れるものを売れる分だけ生産するにはどうすればよいかを突き詰め、従前８週間だったＭＤサイクルを４週間へと短縮、細分化すると同時に、企画、発注から生産までのリードタイムも大幅に短縮しました。これによりトレンドや売れ筋を高い精度で見極めたうえで発注を行うことが可能となり、最終消化率を大幅に向上させています。
「売る分だけつくる」という究極のコンセプトはいまだ発展途中ではありますが、廃棄問題を考えるに今後も当社の重要な課題として真摯に取り組んでいきます。

障がい者との共存

私たちは早くから障がい者の雇用に取り組んできました。個人の持つ様々な障がいの種類をむしろ「個性」として考え、数多くの職場、職種から各自の個性に適した業務を用意することで、みんなが輝ける職場を作っております。
当社が雇用している障がい者には、店舗での業務を行っている人に加え、本社の各部門、そして関連会社である旅館業で働く人もおります。
関連会社である「フリーゲート白浜」、「浜木綿くろしお山荘」の２か所で働く従業員の大半は障がいを抱えており、ホテルや旅館業のようなサービス業での雇用は全国でも珍しいケースとなっております。両施設ともに、当社での接客のノウハウを伝えながら、障がい者が自分たちで考えて仕事を完結できるようにしております。

VOICE

サステナブルな経営を優先事項へ



（株）パルグループホールディングス
代表取締役社長

井上 隆太

私たちのグループの売り上げも１，３００億円を超えるまでになり、９００か所以上の店舗で取り扱いされている商品も、衣料品から生活雑貨など多岐にわたります。創立以来、「社員と株主、みんなの幸せのための経営」という言葉を経営理念として取り組んできており、その実現のために様々な施策を講じてきました。一方で私たちの身の回りで起きている社会問題、地球環境などを考えるに、企業としての社会的な意義やあり方を、はっきりと外部に示さなければならない時が来ていることを強く認識しております。
社会を構成する一組織としての企業には、その社会の中で果たすべきそれぞれの役割があるとされております。古くは江戸時代の近江商人の考え方に「三方よし」というものがあり、売り手よし、買い手よし、世間よしという、現在でいうところの企業の社会性（ＣＳＲ）が実践されておりました。この原点に再度立ち返りながら、私たちの社是である「常に新しいファッションライフの提案を通して社会に貢献する」という言葉の通り、個社の与えられた範囲において、それぞれの事業が様々な社会課題を解決する方向で経営を行うことを、これからも担保し続けたいと思います。

社会的な意義やあり方をはっきりと示すとき

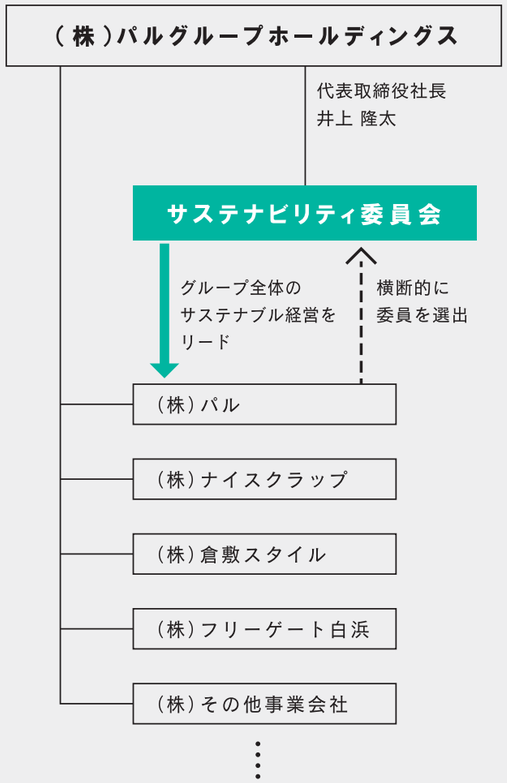
PALGROUP SUSTAINABLE BUSINESS COMMITTEE

1 OUR ENVIRONMENT
生産から販売までの環境

2 OUR PEOPLE
ビジネスに関わる全ての人々

3 OUR BUSINESS MODEL
私たちのビジネスモデル

ORGANISATION CHART



パルグループのサステナビリティ委員会

私たちは従来から様々なサステナブル視点のアクションを行ってきました。それは５０年近く続いてきた企業の成長過程のなかで、「社員と株主みんなの幸せのための経営」という経営理念を実現するための要素として、自助的に行ってきたものでした。真摯なモノづくりと使用する素材の厳選、消化率の向上、公平な人事制度、地域での植林活動、経済的に就学が困難な学生への奨学金の支給、そして障がい者と一緒に働ける環境つくりなど、その内容は多岐にわたります。この活動をスピード感をもってさらに発展させ、サステナビリティをグループ全体の共通の経営課題として取り組むために、パルグループホールディンス内にサステナビリティ委員会を立ち上げました。
それぞれの事業会社の様々な部署で活躍している人材を委員に任命し、世界的なサステナビリティの動向を理解しながら、グループとしての方向性を明確にします。そして具体的な課題を抽出して、施策を立案し、グループ内の事業会社各社で実行していく、それが委員会のミッションとなります。

私たちパルグループが長年にわたり培ってきたＤＮＡを継承しながら、内部から自主的に改革を起こしていく方向で進めてまいります。そしてその活動をけん引していくのがパルグループのサステナビリティ委員会です。

全社員がサステナブル経営の重要性を認識し行動できるリーダーシップをもつ

私たちは地球や人類が直面している問題に危機感を覚えており、国連が提唱しているＳＤＧｓの活動に賛同しております。パルグループ各社における経済活動がＳＤＧｓの考え方に沿って進められ、社会課題の解決に貢献する事が重要です。私たちのグループで働く従業員とその家族、そしてステークホルダー全員がＳＤＧｓに沿ったサステナブル経営の重要性を正しく理解し、一人ひとりがリーダーシップをもち共通の尺度で行動する事を推進してまいります。



株式会社パルグループホールディングス

サステナビリティ委員会

Copyright © PAL GROUP Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.